

昭和56年 晴れの受章者

当団地より春の叙勲に次の3氏が受章いたしました。
小川株式会社社長・小川甚次郎氏（勲四等瑞宝章）、(株)寿商会社長・若林保四氏（勲四等瑞宝章）、(株)五井建築設計研究所会長・五井孝夫氏（勲三等瑞宝章）。

3氏とも今後共益々の御活躍を期待いたします。

小川株式会社社長 小川 甚次郎氏

生きていくうちに、このような名誉なものをいただけるなんて光栄です。叙勲の一つの糧として、今後も与えられた仕事に全力投球したい。

考えてみますと、呉服を中心に繊維製品卸売業に携わって50年余、加賀友禪の振興と後継者育成に、出来る限りの情熱をそそいだほかに、商工会議所の仕事を通じて観光と伝統産業の振興にもつとめてきました。

この間にはかぞえ切れない位多くの方々の、ご指導とお引立をいただき、又故山田藤太郎様には特別にかわいがってもらいました。

諸先輩の御指導のもとに私としましても力の限り働いてきました事が、今日の榮譽に結びついたものと思っております。

幸い健康には充分恵まれておりますので、今後心身の許す限り業界をはじめ各方面で精一杯の誠意と努力を傾けたいと思います。



(株)寿商会社長 若林 保四氏

この度はからずも叙勲の御沙汰を拝し、去る5月13日大蔵省講堂において勲四等瑞宝章の勲記並に勲章を渡辺大蔵大臣閣下より直接お手渡しを受け、引続き祝賀会が催され午後より皇居に参内、新宮殿春秋の間で

畏くも天皇陛下に拝謁を賜る榮譽に浴しました。自然と体が引締り、只々感銘の極みでありました。一家一門の名誉この上もなきことであります。回想致しますのに私は本当に幸せものでありまして、昭和46年秋国税庁長官殿の表彰を拝授した折に、皇居に参内し、その後大蔵大臣表彰、昭和50年に藍綬褒章と今回で三たび、陛下

の御前に進みました。このことは多勢の皆様から永年にわたる御指導とお引立の賜もののお蔭にほかなりません。今回の私の榮譽を皆様にはご自分の喜びの如く、心温まるお祝いと激励のお言葉を頂き、何とお礼申し上げてよいか只々深く頭を下げる外はございません。

現在はご覧のとおり健康に恵まれておりますが、今後は更に神仏のお恵みのお蔭を得て、健康に留意し、人の和を中心に社会と業界に誠心誠意奉仕を傾注致す覚悟を新たにしておりますので、この上とも相変りませず御指導とお引立の程、懇願申し上げ心からの感謝をこめて御挨拶と致します。



(株)五井建築設計研究所会長

五井 孝夫氏

このたびは叙勲の余恵に浴し、身にあまる光栄と感激にたえません。戦前十数年は中央官庁に職を奉じ、戦中3年は南方軍政に、戦後は金沢に移り住んで早や35年を過ぎました。この間建築の仕事を通じて出来るだけ多方面に働き広く人生を体験したいと念じ、建設業、地方自治体、大学教育等の職場を経て最終目的としていた建築設計事務所の開設と歩んで参りました。

この間実に多くの方々の暖かい御指導と御鞭撻を賜わり身の果報を感謝しています。就中、問屋団地建設の仕事の一端を携さわる幸運に恵まれたことを。事に当っては指導者の不退転の決意と情熱、明確な目的の把握と計画の周到な立案、

そして人の和と団結心、わかり切った事ながら、実際の場において私は多くのことを教わりました。ありがとうございます。



協同組合 金沢問屋センター

第19号 1981年7月発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585



六月の白山

第十八回通常総会を終えて

協同組合 金沢問屋センター
副理事長 越原 哲郎



去る5月25日、当組合の第18回通常総会が無事終了して、決算担当者として年に一度の大役が果された喜びと共に、昭和40年から一貫して資金関係の御手伝いをして参りました私として、その当初を想起してよくもここまで来たものだと転、感慨深きものを覚えました。

敷地の買収も終り、団地のレイアウトも決り愈々店舗建設の段階で、金沢経済界の一部に問屋センターは問屋の墓場であるという様な風説が流れ組合員三十数社の集团的な組合脱退が起り大変な事態となったことがあります。この時程一般の株式会社等と違い、加入脱退が自由であるという協同組合の建前が斯様な団地造成という事業を行う上に於いて、資金面から見て極めて不都合である事を痛感させられました。土地代の膨大な借入金に残り、基本資金としている出資金は組合員の自由な脱退により減ってゆくならば、今後の資金運用はどうなるだろうか、ひいては組合自体の存亡すら憂慮された時もありました。

又土地造成が始まって数年は建設関連、資金調達、渉外等の経費がかさむ一方で、他方収入は組合員から賦課金が唯一の収入源で、赤字が増すばかり、期の途中で追加賦課金まで徴収したけれども、一時は出資金6千万円に対し、累積欠損金が1億9千万円に達し、組合の内外に非常な不安を呼んだこともあり。その他色々な紆余曲折を経ながら創立以来18年、今や立派な社屋が建並び、立派な町並が出来上り、全国的な模範団地と言われる様になりました。今回の決算では出資金、剰余金、併せて7億8千余万円、土地等の含みを考えますと組合の財務は磐石の基礎が固った様に思います。誠に御慶に堪えない次第であります。所謂、高度成長経済の恩恵に浴した事も幸しましたが、特に組合員全体が運命共同体としての強固な連帯意識による御協力と又歴代理事長以下各役員の方々の献身的な奉仕活動の賜であると思っております。

交通難の打開、店舗用地の拡張と近代化、労働力の確保等、団地造成の当初の目標はほぼ完成に近づいた今、組合の活動目標はどうすべきかという大きな転換期にさしかかっている様に思います。今後当面して来る問題点を一・二挙げますと先づ第一には、中小企業事業団からの、建設助成金も一部を除いて、完済期が迫っておりますが、之が完済の解放感から組合員全体の連帯意識が弱体化せぬかという危惧であります。今迄の組合即組合員各社の発展繁栄も一に連帯意識の高揚による団結の力であった事に思いを致し厳に戒めねばならぬ事だと思っております。第二には組合活動の主要な資金源であった用地分譲益も第二次団地にあと200坪を残すのみとなりました。周辺土地価格の高騰から第3次拡張事業も見込薄の現在、御承知の共同事業としての多目的ビルの建設を計画中であります。勿論之は組合の収入だけを目標としたものでない事はいうまでもありません。組合員相互の共同利益を追求しながら組合活動の資金源となり得る様な、各種共同事業を強力に企画推進せねばならぬと思っております。ハードウェアが完成した現在ソフトウェア即ち組合内部の共同事業等に組合活動の重点を移し、限りなき発展繁栄のために全組合員の総智総力を結集して、努力し協力してゆかねばならぬと思っております。

第18回通常総会開催

当組合の第18回通常総会は、さる、5月25日午後2時より問屋町会館2階ホールで開催された。

挨拶の中で小川理事長は、57年度より組合員店舗の増築事業、新流通会館建設計画を発表し、又、中小企業経営者の世代交代時の課税問題に特にふれ、現行の中小企業承継税制は、経営者の相続税負担が大きい、このままでは世代交代に当って、事業の継続が困難になると指摘し、具体的な改善要望として ①中小企業者の実態に即し、事業用財産の生前贈与時の納税猶予制度を創設すること ②中小同族会社の株式は市場性がなく換価性にも乏しいので、この実態を踏まえ、株式評価方法を適正なものに改めることの二点をあげ、今後商団連を通じ政府に働きかけたいと表明した。

そのあと、議案審議に入り、全議案原案通り承認された。

- 1 開催日時 昭和56年5月25日 午後2時
- 2 開催場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- 3 組合員総数 158人
- 4 本人出席 70人
- 5 委任状出席 49人
- 6 議長 荒木 登
- 7 議案審議の状況 議長は出席定数が過半数を超えているので、本通常総会は成立する旨報告後、議案の審議に入る。

- (1) 議長は第1号議案、昭和55年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件を上程、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (2) 議長は第2号議案、剰余金処理(案)承認の件を上程、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (3) 議長は第3号議案、昭和56年度事業計画(案)承認の件を上程し、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、一部質問があって全員異議なく原案どおり承認した。

- (4) 議長は第4号議案、昭和56年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法の承認を上程、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (5) 議長は第5号議案、昭和56年度借入金の最高限度額承認の件を上程、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (6) 議長は第6号議案、組合員脱退承認の件を上程、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (7) 議長は第7号議案、定款一部変更承認の件を上程し、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (8) 以上で議案の審議を終了した。
- (9) 来賓出席者

- 喜田 石川県商工労働部次長
- 三島 石川県商工労働部商工課長
- 駒谷 金沢市経済部長
- 宮本 金沢市商工観光課課長補佐
- 本谷 石川県中小企業団体中央会専務理事
- 山根 商工組合中央金庫金沢支店長
- 北 北国銀行問屋町支店長
- 田中 北陸銀行金沢問屋町支店長



問屋町交通安全対策協議会

総会開催

問屋町交通安全対策協議会(会長 井上三郎)は去る6月9日問屋町会館2階ホールで、第13回通常総会を開催した。55年度実施した重点事業は、運転者のモラル向上をめざし、8ミリ映写機と交通映画フィルムを購入、各社持ち回りで貸出し、交通安全教育の一助としたほか、事故が多発した問屋町1丁目87番地角、交差点に「止れ」信号機を関係当局へ要望し設置された。

56年度事業計画は、事故の誘因となる路上駐車に焦点をあてて、適正な駐車をめざす為、路面上に駐車位置を示す線引きを予定している。



優良運転者

- 10年以上 中山 正喜 北陸通信工業(株)
- 紺村外喜男 小川(株)
- 5年以上 飯塚 秀夫 北陸通信工業(株)
- 山下 幸夫 "
- 本田 豊志 小川(株)
- 中浜亜紀夫 "
- 長 与義 "
- 見定 修 "
- 前出 和彦 "
- 野崎 秀雄 石織(株)
- 南保 弘 (株)松本紙店
- 砂田 寿彦 "

問屋町地内事故状況

(問屋町派出所調べ)

問屋町地内の事故件数及び 従業員の関係する事故件数

年度	事故種別	発生 件数	従業員の 関係する 被害者数	
			従業員 の 加害者数	従業員 の 被害者数
52年	人身事故	14	5	7
	物損事故	9	1	3
	合計	23	6	10
53年	人身事故	19	2	6
	物損事故	7	4	2
	合計	26	6	8
54年	人身事故	12	2	1
	物損事故	12	2	1
	合計	24	4	2
55年	人身事故	16	1	3
	物損事故	13	0	0
	合計	29	1	3

事故発生形態別表

種別 年度	人 身				物 損			
	出合頭	側面	その他	計	出合頭	側面	その他	計
52年	7	3	4	14	4	1	4	9
53年	7	6	6	19	0	5	2	7
54年	3	3	6	12	6	5	1	12
55年	7	5	4	16	6	6	1	13

事故多発場所

年度	場 所
52年	北国銀行前 織田寝具(株)前
53年	(株)コシハラ交差点
54年	織田寝具(株)前 石川トヨベツト(株)前 東口交差点前
55年	南口交差点 石川東芝商品販売(株)角交差点

— 新入社員歓迎式 —

4月2日午前10時より会館ホールにおいて、47社182名(男83名・女99名)の新入社員の歓迎式を開催した。小川理事長の挨拶に続き、来賓の祝辞があり、先輩代表北陸通信工業(株)の高野敏久さんの歓迎の辞に対し、新入社員代表石織(株)の秋本光雄さんの答辞があって閉式、後鶴来町文化財保護課長の谷口正幸氏の「現代の社会が求めるもの」と題し記念講演があった。新入社員にはそれぞれに弁当と男女別記念品を、また県よりの記念品も加えて贈り祝福のしるしとした。



— 電話教室 —

新入社員の電話教室は4月6日・7日・8日の3日間に分けて本年度は114名(男37名女77名)が金沢電話局より指導者を迎えて、電話の応待、マナーについて実技指導に重点を置き、映画による視覚にも訴えながら3時間の研修を実施した。年毎に男子受講者が増加傾向にある。参加企業は30社。

— 新入社員研修会 —

4月10日・11日泊2日県立医王山スポーツセンターにおいて、27社97名(男48名女49名)の受講者が、(財)修養団の講師乾井孝明氏・久世郁夫氏の二名の方によって、修養団独特の研修方法によって実施された。当初全受講者を「童心行」と名づける方法によって、全く幼児の心理状態に帰らせてしまう行事を実施してから、本格的な講話・静座・軽スポーツ等が展開され、講話もユーモアを混えて、聴講に退屈感を与えずに受講できたようである。

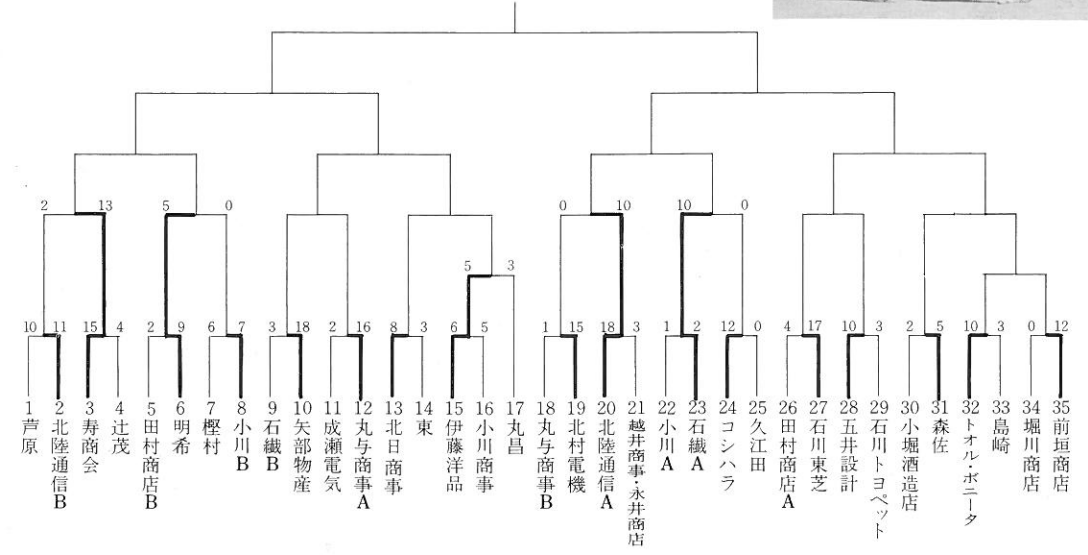
協同組合金沢問屋センター 昭和56年度 福利厚生事業計画

- 第14回商社対抗野球大会
日時 5月12日～7月下旬 午前6時開始
場所 金沢問屋センター球場
- 第11回商社対抗麻雀大会
日時 6月13日(土) 午後6時30分開始
場所 金沢問屋町会館2階ホール
- 第14回納涼盆踊り大会
日時 7月25日(土) 午後7時 雨天時7月27日(月)
場所 北陸銀行金沢問屋町支店横 第一共同駐車場
- 第7回ソフトボール大会
日時 9月13日(日) 雨天時9月15日(祭)
場所 金沢問屋センター球場
- 第9回社員園遊会
日時 10月3日(土) 午前11時～午後5時
場所 A公園及び歩行者道路上
- 健康診断
日時 8月26・27・28日 午前9時30分～午後4時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- 成人病検査
日時 8月24・25日と57年2月の2回実施
午前8時30分～12時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- お茶教室 毎週水曜日 午後5時～7時迄
会館2階和室 裏千家
- お花教室 毎週金曜日 午後5時～7時迄
会館2階和室 草月流
- きものきつけ教室 毎週月曜日
9月より新たに生徒を募集します。
入部御希望の方は、事務局へ申込んで下さい。



第14回商社対抗野球大会

途中経過



第11回麻雀大会開催

第11回麻雀大会は6月13日(土)午後6時30分より問屋町会館2階ホールを会場に、昨年より20名増の120名参加により、個人戦、団体戦が行われ、熱戦を展開、次の入賞となった。

個人戦 (上位20名)	
優勝 松本紙店	宮本 選手
2位 "	西尾 選手
3位 内外電機	胡浜 選手
4位 丸菱	角 選手
5位 松本紙店	松本 選手
6位 石川東芝	保田 選手
7位 "	中田 選手
8位 糸生	前田 選手
9位 玉田商事	吉田 選手
10位 北陸ペイント	浅田 選手
11位 "	今井 選手
12位 玉田商事	石田 選手
13位 北村電機	松前 選手
14位 カト一産業	栗原 選手
15位 久江田	久江田選手
16位 石川東芝	榎本 選手
17位 カト一産業	加藤 選手
18位 北陸タイヤ	原 選手
19位 越井商事	東野 選手
20位 丸菱	菅野 選手

団体戦
優勝 (株)松本紙店
2位 石川東芝商品販売(株)
3位 玉田商事(株)

